



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

すごいぞ太良町、すごいぞ多良小学校

～保護者の皆さん、地域の皆さんの

学校を思っていたただく気持ちに感謝です。～

【内容ダイジェスト】

- ◎ 子ども達は、たくさんの“お宝体験”をしています。
- ◎ 保護者の皆さん、地域の皆さんのボランティア的支援、とても、とても有り難いです。
- ◎ 太良町だからできる、多良小学校だからできる貴重な体験（“お宝体験”）を、体験するだけで終わらせたくありません。もったいないです。
- ◎ “お宝体験”と、“多良小学校でつけたい学力”は、深く関わります。



【1、2年生のいもさし】



【6年生の租税教室】



【5年生の田植え前しろかき】



【不審者対応避難訓練】



【絵本の読み聞かせ】



【平和集会】

「この場面を写真に撮って、ぜひ、保護者の皆さんに伝えたい！」

「この場面をドキュメンタリーにして、地域の皆さんに伝えたい！！」

等、学校では、毎日、毎時間、実に様々な喜怒哀楽の“ドラマ”が展開しております。実際には、カメラがなかったり、子ども達の支援・指導でそれどころではなかったり、かけがえのない貴重な“ドラマ”は、風のごとく過ぎていきます。

今号で紹介している写真も、教育活動のほんの一部です。3年生の地域学習が始まっていたり、4年生の地域防災教育が行われたりと、紹介しきれません。今朝は、1年生が、学級で一番最初に咲いた朝顔の花で、盛り上がっていました。うれしがっている人や、うらやましがる人がいて、この場面を皆さんに見せてあげたいなと思いながら、自分一人で微笑みながら見せてもらいました。

保護者、地域の方々のご協力にも、感謝、感謝です。感謝しきれません。高学年のミシン作業にも、多くのボランティアの皆様にご協力いただきました。ペットボトルのお茶一本、または、お茶さえも出せない時もあります。お忙しい中に、貴重な時間をつくっていただき、申し訳なさを感じることも多々あります。

5年生の田植え前しろかきの時は、暑い中、子ども達の様子を日陰もないところで見守っていただきました。熱中症予防の飴（タブレット）を子ども達の口の中に入れていただくなど、急なお願いも快く引き受けていただきました。（子どもたちは泥まみれで、個々包装から、中身が取り出せなかったのです。）

おかげさまで、子ども達は、貴重でかけがえのない体験ができております。太良町だからできること、多良小学校だからできることも少なくないのです。

このような貴重な体験を、体験だけで終わらせたくありません。体験に関連する“話す”“聞く”“読む”“書く”活動を、どんどん活性化させたいと考えております。例えば、進行は、どんどん子ども達に任せるとか、お世話になった保護者の皆さん、地域の皆さんに、お礼の気持ちを手紙でしっかり伝えるとか、自分たちのしたことを記録にまとめて発表するとか、関連することはたくさんあります。体験して終わりには、けっしてしたくありませんし、すべきでもありません。

多良小学校で考えている学力は、“自分が本気でやれば必ず伸びることを実感していること（個人内評価の確立）”“言語力向上”“社会性”“根気強さ（たくましさ）”等の総体です。けっして勉強に限ったことではありません。生活全般、趣味、スポーツ等にも関わります。遊びにも、学力は必要です。

学校、保護者の皆さん、地域の皆さんで、本気になって“とことん学び続け、とことん学び合う人”を目指しませんか。実におもしろそうです。